

ミゼラブルの雫



君はなぜ泣いているの？
知らんぷり　もう出来ない
悪戯に笑い合える　君が
いい

你爲什麼在哭呢？
已經不能再裝作沒有看到
捉弄人之後笑還回來　那
樣更適合你

『同情』や『共感』は後
付け
とにかく君が心配
素直に「笑って」と言え
ば
元通りになると思ってた
よ

說「同情」或「共鳴」都
是馬後炮
總之還是擔心你
以爲單純地一句「笑一
下」
就能回到原來的樣子

哀しみが零れ落ちて
足元を濡らしてゆく
幼気で深い　君の見過ご
せぬ
小さな海は
安っぽい慰めでは
汲み取れはしないと知り
励ましや　問うことさえ
躊躇った

悲傷的眼淚零落
沾溼腳旁足畔
無法忽視楚楚可憐的你

小小一灘海
掉價的安慰
也知道大概不能感同身受
鼓勵的話　甚至詢問緣由
都躊躇了

優しく接してあげたい

想能夠溫柔地接觸你

だけれど どうすればいい？

迷った言葉なんかより
優しく頭を撫でてあげた

但是話說 該如何做呢？

比起令人困惑的言語
選擇溫柔地摸摸你的腦袋

哀しみが零れ落ちて
足元を濡らしてゆく
幼気で深い 君の見過ごせぬ

小さな海は
寄り添って 弱い気持ち
汲み取ってゆけばいいさ
『手を握る』 それだけでも
今はいい

悲傷的眼淚零落
沾溼腳旁足畔
無法忽視楚楚可憐的你

小小一灘海
並肩靠着 微弱的心情
如果你能體會到的話就好
只要能握住你的手

現在就足夠

時は経ち 次第に
君は心を解いてくれた
時間には敵わないね
優秀だ

隨着時間經過
你的心結也漸漸解開
沒有東西能與時間爲敵
真厲害

ちっぽけで弱い自分
無力さを知ってしまった
でも君は「ありがとう」って

微小又柔弱的自己
知道了自己的無力
但是你的一句「謝謝」

微笑着 涙ぬぐった
「ねえ、いつもの冗談で
笑わせて？」

微笑着 溼潤了我的眼眶
「呐、再講一次那個笑話
吧？」

ほらやっぱり
無邪氣にからかう君は素
敵だよ

你看果然
天真無邪地捉弄人的你真
是太棒了

還能不能，讓時間治癒一切呢。

きみ な
君はなぜ泣いているの？
し でき
知らんぷり もう出来ない
いたずら わら あ きみ
悪戯に笑い合える 君がいい

どうじょう きょうかん こう っ
『同情』や『共感』は後付け
きみ しんぱい
とにかく君が心配
すなお わら い
素直に「笑って」と言えば
もと とお おも
元通りになると思ってたよ

かな こぼ お
哀しみが零れ落ちて
あしもと ぬ
足元を濡らしてゆく

いたい け ふか きみ み す
幼 氣で深い 君の見 過ごせぬ

ちい うみ
小 少な海は

やす なぐさ
安 っぽい 慰 めでは

く と し
汲 み取 れはしないと 知 り

はげ と
励 ましや 問 うことさえ

ためら
躊躇 った

やさ せつ
優 しく 接 してあげたい
だけれど どうすればいい？

まよ ことば
迷 った 言葉 なんかより

やさ あたま な
優 しく 頭 を撫 でてあげた

かな こぼ お
哀 しみが 零 れ 落 ちて

あしもと ぬ
足 元 を濡 らしてゆく

いたい け ふか きみ み す
幼 氣で深い 君の見 過ごせぬ

ちい うみ
小 少な海は

よ そ よわ き も
寄 り 添 って 弱 い 気 持 ち

く と
汲 み取 ってゆけばいいさ

て にぎ
『 手 を 握 る 』 それだけでも

いま
今 はいい

とき た しだい
時は経ち 次第に

きみ ところ と
君は心を解いてくれた

じかん かな
時間には敵わないね

ゆうしゅう
優秀だ

よわ じぶん
ちっぽけで弱い自分

むりよく し
無力さを知ってしまった

きみ
でも君は「ありがとう」って

ほほえ なみだ
微笑んで 涙ぬぐった

しょうだん わら
「ねえ、いつもの冗談で笑わせて？」

ほらやっぱり

むじゃき きみ すてき
無邪気にからかう君は素敵だよ